

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	私立大学等研究設備整備等		担当部局庁	高等教育局私学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	研究設備：昭和28年度・なし 上記以外：昭和49年度・なし		担当課室	私学助成課		私学助成課長 矢野 和彦		
会計区分	一般会計		政策・施策名	私学の振興 VI-1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	私立大学の研究設備に対する国の補助に関する法律 (昭和32年3月30日法律第18号)第2条		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	①私立大学等における教育研究設備の整備を支援することによりわが国の学術研究及び高等教育の高度化を推進する。 ②私立高等学校等におけるIT教育を実施するために必要な設備の整備を支援することにより、私立学校教育の振興を行う。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①私立大学等研究設備等整備費補助金 私立の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程、高等課程)を設置する学校法人等が以下の事業を行う場合、その経費の2/3または1/2以内を補助。 ・経営戦略や研究戦略上意欲的なプロジェクトに対する設備等の一体的な整備 ・教育研究活動の環境整備 ②私立高等学校等IT教育設備整備推進事業 私立高等学校、中等教育学校、中学校、小学校、特別支援学校を設置する学校法人が以下の事業を行う場合、その経費の1/2以内を補助。 ・コンピュータ等を用いて、各教科等において私学の特色を活かしながらIT教育を実施するために必要な設備の整備							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	5,004	4,375	3,792	2,179	2,179	
		繰越し等	333	0	8,025	0		
		計	83	124	-6,894	6,894		
	執行額	5,420	4,499	4,924	9,073	2,179		
	執行率 (%)	5,414	4,490	4,906				
		99.9%	99.8%	99.6%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、教育研究を行うために必要不可欠となる基盤的設備(機械、器具、標本、図書、IT設備等)の整備を支援し、教育研究環境の維持・向上を図るものであり、各年度において、その整備内容・規模等が一定ではないため、定量的成果目標を示すことは困難ではあるが、特に、優先的支援を行う戦略的研究プロジェクト(研究拠点を形成する研究、大学の特色を生かした研究及び地域に根ざした研究)として選定・整備された拠点数を成果実績として示す。			拠点数 (累計)	67 (116)	47 (163)	49 (212)	
	達成度		%					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助金を交付した学校法人等数			法人	375 ()	346 ()	437 ()	- ()
単位当たり コスト	(円/)		算出根拠	※各学校法人により整備する設備が異なるため、単純に単位当たりのコストを算出することはなじまない。				
平成 25・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	私立大学等研究設備等整備費補助金	2,032百万円	2,032百万円					
	私立高等学校等IT教育設備整備推進事業	147百万円	147百万円					
	計	2,179百万円	2,179百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・本事業は、私立大学等における研究設備や教育基盤設備の整備を支援し、そこでの教育研究活動等を通じて、我が国の学術研究の進展及び高度な人材の育成等に資することを目的とした優先度の高い事業であることから、国が実施していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先については、各学校法人からの事業申請書(計画調書)をもとに、外部有識者による厳正な審査・評価を経て適切に選定している。 補助対象経費については、申請時及び事業完了時(額の確定時)に適切にチェックを行い、真に必要なものだけに限定して執行している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・戦略的研究プロジェクトの優先実施により、私立大学における研究拠点数は着実に増加している。 ・本事業で整備された設備は、戦略的研究プロジェクトの拠点形成に寄与するなど各私立大学等の研究及び教育活動に有効に活用されており、実効性の高い事業となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・本事業は、学校法人からのニーズが高く、毎年度、予算額を大幅に超える件数の申請があるため、必要性や緊急性、有効性等の高い事業に厳選するとともに、交付額の圧縮を行うなどして適切に採択できるよう努めている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、私立大学等における学術研究の促進を図るため、研究設備等に要する経費を補助する事業であり、長期継続事業及び事業の効果的・効率的な実施の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、各大学等からのニーズが高く、申請件数も多いことから、採択事業の絞り込みを行った上で、交付金額の圧縮等を行っている。現行においては、見直しの余地はなく、現行の事業内容について着実に実施すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0186	平成23年	0162	平成24年	0174

文部科学省
4, 906百万円

対象学校法人等から応募のあった事業内容を
審査の上、補助対象事業を選定し、補助金を
交付する。

【公募・補助】

私立大学等研究設備等整備費
補助(大学等分)
A. 学校法人(全 180法人)
総額 3,633百万円

〔教育基盤設備、研究設備の整備〕

【公募・補助】

私立大学等研究設備等整備費補
助(専修学校分)
B. 学校法人(全56法人)
総額 317百万円

〔教育・情報処理関係設備の整備〕

【公募・補助】

私立高等学校等IT教育設備整備推
進事業
C. 学校法人(全201法人)
総額 956百万円

〔教育・情報処理関係設備の整備〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.学校法人関西大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	教育研究基盤強化のための設備の購入	153			
計		153	計		0
B.学校法人京都コンピュータ学園			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	教育・情報処理関係設備の購入	23			
計		23	計		0
C.学校法人東邦学園			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	コンピューター関連機器一式の購入	20			
計		20	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 私立大学等研究設備等整備費補助(大学等分)

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人関西大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	153	-	-
2	学校法人加計学園	教育研究基盤強化のための設備の整備	140	-	-
3	学校法人東京理科大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	134	-	-
4	学校法人順天堂	教育研究基盤強化のための設備の整備	133	-	-
5	学校法人東洋大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	118	-	-
6	学校法人慈恵大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	88	-	-
7	学校法人昭和大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	88	-	-
8	学校法人北里研究所	教育研究基盤強化のための設備の整備	87	-	-
9	学校法人北星学園	教育研究基盤強化のための設備の整備	86	-	-
10	学校法人中部大学	教育研究基盤強化のための設備の整備	83	-	-

B. 私立大学等研究設備等整備費補助(専修学校分)

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人京都コンピュータ学園	教育・情報処理関係設備の整備	23	-	-
2	学校法人電波学園	教育・情報処理関係設備の整備	21	-	-
3	学校法人電子開発学園九州	教育・情報処理関係設備の整備	20	-	-
4	学校法人麻生塾	教育・情報処理関係設備の整備	16	-	-
5	学校法人山本学園	教育・情報処理関係設備の整備	14	-	-
6	学校法人熊本YMCA学園	教育・情報処理関係設備の整備	14	-	-
7	学校法人大阪経理経済学園	教育・情報処理関係設備の整備	12	-	-
8	学校法人大和学園	教育・情報処理関係設備の整備	11	-	-
9	学校法人河合塾学園	教育・情報処理関係設備の整備	10	-	-
10	学校法人中村学園	教育・情報処理関係設備の整備	10	-	-

C. 私立高等学校等IT教育設備整備推進事

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人東邦学園	コンピューター関連機器一式	20	-	-
2	学校法人慶應義塾	コンピューター関連機器一式	16	-	-
3	学校法人大森学園	コンピューター関連機器一式	12	-	-
4	学校法人明倫学園	コンピューター関連機器一式	12	-	-
5	学校法人甲南学園	コンピューター関連機器一式	12	-	-
6	学校法人灘育英会	コンピューター関連機器一式	12	-	-
7	学校法人宮崎日本大学学園	コンピューター関連機器一式	12	-	-
8	学校法人青蘭学院	コンピューター関連機器一式	12	-	-
9	学校法人中央大学	コンピューター関連機器一式	12	-	-
10	学校法人甲南女子学園	コンピューター関連機器一式	12	-	-